

特記仕様書（週休二日制）

1. 本工事は、「週休２日制」の対象工事である。（４週８休以上）
2. 受注者は、週休２日による施工を希望する場合、契約後、発注者へ協議を行い、協議が整った場合に週休２日による施工を行うことができる。
3. 週休２日とは、対象期間において、土日・祝日に関わらず、週休２日（４週８休）以上の現場閉所を行うことをいう。
対象期間は、契約期間内において工事着手日から工事完成日までの期間をいう。なお、年末年始６日間及び夏季休暇３日間、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間、発注者があらかじめ対象外としている内容に該当する期間（受注者の責によらず現場作業を余儀なくされる期間など）は対象期間に含まない。
4. 現場閉所とは、巡回パトロールや保守点検等、現場管理上必要な作業を行う場合を除き、現場が閉所された状態をいう。
なお、降雨、降雪などによる予定外の現場閉所日についても現場閉所日に含めるものとする。
5. 週休２日（４週８休）以上とは、対象期間内の現場閉所日数の割合（以下、「現場閉所率」）が２８．５％（ $8/28$ 日）以上の水準に達する状態をいう。
6. 週休２日の確保の取組は、将来の担い手確保、入職しやすい環境づくりを目指すものであることから、週休２日による施工を実施する受注者は、その趣旨に沿った休日の取得に努めるものとする。
7. 週休２日の実施の確認方法は、次によるものとする。
 - 1) 受注者は、週休２日の計画工程表を施工計画書に添付し発注者へ提出する。
 - 2) 受注者は、実施結果を工事書類（日報、出勤簿、作業日誌、安全日誌等）により発注者へ報告する。
8. 週休２日の実施状況について、発注者が必要に応じて聞き取り等の確認を行う場合には、受注者は協力するものとする。
9. 週休２日による施工を希望した工事は、現場閉所の達成状況を確認後、４週８休に満たない場合は閉所状況に応じた補正係数を、労務費、機械経費（賃料）、共通仮設費率、現場管理費率に乘じる設計変更を行う。
また、市場単価（下水道工事（管路）を含む）についても、現場閉所に応じた補正係数を乗じる。
なお、その他労務費分が明らかとなっていない単価等については補正の対象としない。

1) 現場の閉所状況

① 4週8休以上

現場閉所率が28.5%（8日／28日）以上の場合

② 4週7休以上4週8休未満

現場閉所率が25.0%（7日／28日）以上28.5%未満の場合

③ 4週6休以上4週7休未満

現場閉所率が21.4%（6日／28日）以上25.0%未満の場合

2) 補正方法

当初予定価格から4週8休以上の達成を前提とした補正係数を各経費に乘じ、現場閉所の達成状況を確認後、4週8休に満たない場合は履行状況に応じて各経費を補正し、請負代金額を変更する。なお、4週6休に満たないもの及び、工事着手前に週休2日に取り組むことについて協議が整わなかったもの（受注者が週休2日の取組を希望しないものを含む）については、補正の対象としない。

10. 「週休2日モデル工事」について、受注者を対象としたアンケート調査の依頼があった場合は協力するものとする。

アンケートフォーム：

URLhttps://www.pref.hokkaido.lg.jp/kn/ksk/enquete_room.html